

秋を求めて



秋もいよいよ深まり本格的な冬も間近となりました。
 秋晴れの中、利用者の櫻間さんご家族から「バラが見頃ですよ」とお誘いをいただきました。早速みんなで上熊本のフードパルまでドライブ。歩行訓練にとバラ園を見学してきました。日向ぼっこに良い場所をお借りし、お茶休憩。素敵な花に囲まれて、皆さんとても優しい表情、心も体もホッとするひと時を過ごすことができました。



芸術の秋 No. 2



「芸術の秋第2弾」として、11月の福祉祭りに向けて利用者の皆さんと一緒に作品作りに取り組んでいます。

厚紙に布を張り、好きな模様を張り合わせた眼鏡ケースや、牛乳パックを再利用した椅子作りにチャレンジしています。皆さん、われ先にと「先生、次はどがんせにゃんとですか？のりばかしてはいよ」と真剣に黙々と作られていました。



----- 出来上がりは福祉祭りで展示致します。お楽しみに。



大磯 保代 (看護師)

利用者の皆さんに温かく迎えていただき、体操や歌など一緒に楽しませていただいています。

介護の世界は初めてで不慣れなことも多く日々学ぶことばかりです。まだまだ力不足ですが頑張ります。よろしく願いします。

スタッフ紹介



金丸多佳子 (介護職)

小規模はとてもアットホームな雰囲気、利用者さんの年齢を聞くとびっくりするほどお元気な姿と笑顔にパワーをいただいています。「今どきの若者は」と言われたいよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

秋のオカリナコンサート



10月18日、何度か来訪頂いているオカリナボランティア「ジェラード」さんによる演奏会が開かれました。

懐かしい曲が演奏されると、心も体も踊るよう。テレビから聞こえてくる音とは一味違った生演奏の音色に、贅沢を感じたひとときでした。秋の風情も感じながら、皆さんの心もとても癒されたようでした。

元気いっぱい！園児交流会

11月9日、春日保育園の園児の皆さんが看護小規模はるかぜに遊びに来て下さいました。

歌、手遊びゲーム、肩たたきなど、子供たちとの触れあいでいつも大きなパワーを頂いています。

同じ地域の住民として、これからもさまざまな世代間の交流を行いながら、事業所としても安心な地域づくりに貢献していければと思っています。



地域とつながる運営推進会議



地域密着型サービスのひとつである看護小規模では、地域に開かれた事業所であること、また質の向上を図ることを目的として、2ヵ月ごとに「運営推進会議」を開催しています。

春日・古町・白坪校区の自治会長、民生委員、社会福祉協議会役員さんをはじめ、ささえりあのセンター長、利用者ご家族などが出席され、サービス提供状況などの運営状況の報告を行い、内容の評価・要望・助言などを

いただいています。クリニックからも理事長をはじめ、各部署長も出席します。

開設から4年目を迎え、新たな課題にも果敢にチャレンジし続けています。推進会議で委員の皆さんからいただく疑問やご意見により、いろいろなことに気付かされ、学ぶ機会をいただき、また一方で、地域の方々に向けての良い情報発信の場にもなっています。

地域にとってなくてはならない看護小規模であり続けるため、これからも委員の皆さんと共に課題に取り組んでまいります。今後ともよろしく見守っていただきたいと思います。

(看護小規模はるかぜ 池田)